

各専攻・コース（フレックスクラス）の授業について

オンラインのみで修了可能なコースについても、「オンラインでの同時双方向授業（同期型）と通学による対面授業を選択できるハイフレックス科目」を設定するなど、対面授業を効果的に実施しています。

※通学は、原則神戸キャンパスになりますが、実験・実習・実技については、設備の関係上加東キャンパスで実施することがあります。

なお、神戸キャンパスは令和6年10月からJR新長田駅前に移転する予定です。

令和5年4月1日

専攻	コース	オンラインのみでの修了の可否 1：ほぼ可能 2：選択した授業により通学が必要 3：通学が必要	週あたりの通学状況	課題研究や研究指導、ゼミの実施方法	共通基礎科目（教育実践高度化専攻開設）の実施方法	フレックスクラスの特徴・特性
人間発達教育	教育コミュニケーション	3	週1回程度	通学を基本とし、オンラインを併用することもあります。		人と人との対話的な関係を大切にしながら、通学とオンライン双方のよさを生かしつつ、教育や人間形成の本質を探究します。
	幼年教育・発達支援	1	通学不要	オンラインで実施します。		全ての授業をオンラインで実施しているため通学は不要です。加東キャンパスでの対面授業を行うことがありますが、オンラインでも参加可能です。仕事の都合で正規の授業時間に間に合わないときに、授業動画の視聴による受講が可能な科目もあります。課題研究や研究指導は必要に応じて対面で実施し、時間が調整できれば昼間クラスと合同で行うことがあります。
	学校心理・学校健康教育・発達支援	1	ほぼ通学不要	オンラインを主としますが、進度により通学で実施します。		<ul style="list-style-type: none"> ・授業やゼミはオンラインを中心に実施します。 ・心理検査やデータ分析等については、通学による授業でもサポートします。 ・「心理教育アセスメント」：通学による授業の方が多いです。 ・「心理統計研究法」、「心理統計研究法演習」：2科目合わせて30回のうち、対面は6回あります。 ・「発達アセスメントと支援」:15回のうち対面は5回で集中講義で実施します。 ・心理学系の資格取得を希望する場合は、通学による授業を履修する必要があります。
	臨床心理学（※令和6年4月から）	1	通学不要	オンラインで実施します。		教育現場ならびに対人援助現場の課題解決型のクラスです。ICTやオンラインを活用し、自宅にいながらすべての授業を受講できるクラスです。通学の必要はありません。オンデマンドとオンライン（同期型）の併用により講義等を行います。オンライン授業（同期型）は、主に土曜日に開講しますので、勤務しながら学ぶことができます。 (臨床心理士・公認心理師試験受験資格には対応していません)
	芸術表現系教育（音楽）	2	週1～2回程度	通学を主としますが、オンラインも含めて柔軟に対応します。		実技や演習を伴う科目では、演奏表現による対話的な探究が求められるため、週に1～2回程度、通学による対面授業や休業期間中の集中講義を実施することがあります。

	芸術表現系教育（美術）	1	ほぼ通学不要	オンラインを主としますが、希望や必要等に応じて通学でも実施します。また、実技に関連する課題研究等は、加東キャンパスの設備利用が可能です。		オンラインでの受講が可能です。希望や必要等に応じて休業期間中に学外での演習や加東キャンパスでの対面授業を実施することがあります。
	生活・健康・情報系教育	2	(技術・情報分野) ほぼ通学不要(研究テーマによる) (家庭分野)(保健体育分野) ほぼ通学不要	主としてオンラインで実施します。		技術・情報分野は、電気電子、情報科学、教育工学、データサイエンス、技術・情報教育法などの専門分野があります。このうち、情報科学、教育工学、データサイエンスは、研究テーマを工夫することでオンラインによる修了が可能です。(研究テーマによっては、対面による実験が必要な場合があります。)技術・情報教育法は調査や実践等のフィールドを学生自身が有している場合にはオンラインでの修了が可能です。ただし、電気電子は実験実習を要するためオンラインのみでの修了はできません。また、実験実習を伴う通学による集中講義が一部あります。 家庭分野は、集中講義による科目の中には、通学により授業を行うものもあります。
特別支援教育	障害科学（※令和6年4月から）	2	ほぼ通学不要	主としてオンラインで実施しますが、一部に対面で実施する演習等を行う場合があります。		全国の現職教員が働きながら学修できます。特別支援学校（3領域）の1種免許状も取得可能です。
教育実践高度化	学校経営	1	通学不要	主としてオンラインで実施します。		専門科目は、オンライン（録画）を中心に授業を進めますが、昼間クラスの学生との合同授業回も設定し、対面またはオンライン（同時双方向）を選択できるハイフレックス方式で実施します。 課題研究は、全ての授業回を昼間クラスの学生との合同授業として、対面またはオンライン（同時双方向）を選択できるハイフレックス方式で実施します。 ゼミ等の研究指導は、オンライン（同時双方向）を中心に実施します。 そのため、修了要件を満たすうえで通学が必要とはなりません。昼間クラスの学生との合同授業に際して、対面参加することも可能であり、修学と仕事の両立を図りながら、フレックスクラスの学生自身が主体的に選択することが可能です。
	教育方法・生徒指導マネジメント	1	ほぼ通学不要	主としてオンラインで実施しますが、教育相談の授業の一部はオンラインに加えて、対面（集中講義）の場合があります。		原則、非同期型、同期型オンラインによる授業形態を取ります。ただし、教育相談に関する専門科目では、一部通学による対面授業を実施します。研究指導（ゼミ）は、学生の通学範囲、希望等によりオンラインか通学による授業かを選択できます。
	言語系教科マネジメント	1	通学不要	主としてオンラインで実施します。		<ことばの教育>に関わる諸問題を考えます。さらに、フレックスクラスの特徴・特性を活かして、様々な学習システム、学習形態、言語使用の可能性を見出し、未来の<ことばの教育>について考えます。
	社会系教科マネジメント	1	ほぼ通学不要	主としてオンラインで実施します。	原則オンラインで実施します。	通学による対面指導を取り入れることも可能です。

理数系教科マネジメント	1	ほぼ通学不要	主としてオンラインで実施します。	<p>実験・実習等を必要とする場合は、夏期休業期間中などに通学による対面授業を実施することがあります。</p> <p>教員が学生の元に赴き行う「出張講義」（学生の要望等を踏まえた時期・場所を受講が可能です）、教員の授業を収録したネット配信等でフレックスに学ぶことができる「VOD方式講義」、「Web会議システムによる研究指導」、学生が一同に会する「集中演習」や「フィールドワーク」の組み合わせを基本としています。（演習や実習等においては、神戸や各地での対面授業等も一部あります。）</p> <p>講義・演習はオンラインでの実施を基本としますが、個別ゼミは通学での実施も可能です。</p> <p>学校教育コースの専門科目「教育実践リフレクション」は、基本的には修学指導教員と学生がオンラインのゼミ形式で実施しますが、3か月に1度、教員と学生全員による「対面による実践の語り合い（合同ゼミ）」を実施します。</p>
教育政策リーダー	1	ほぼ通学不要	主としてオンラインで実施します。（休日や夜間におけるオンラインによる指導が主となります。）	
グローバル化推進教育リーダー	1	通学不要	主としてオンラインで実施します。	
授業実践課題探求	2	ほぼ通学不要	主としてオンラインで実施します。	

※通学は、原則神戸キャンパスになりますが、実験・実習・実技については、設備の関係上加東キャンパスで実施することがあります。

なお、神戸キャンパスは令和6年10月からJR新長田駅前に移転する予定です。